

# 玉垂

たまだれ  
No.37

齋館前の枝垂れ桜（平成24年4月9日）

<http://www.okunijinja.or.jp>

## 陽春の祈り

春先になりますと気候が三寒四温の周期となり、徐々に暖かくなってまいります。今年はその到来が少し遅れているようで、草花の開花に影響するのではと心配です。氏子崇敬者の皆様方には、ご健勝にてお過ごしのことと存じます。

さて、本年は第六十二回神宮式年遷宮遷御の佳年であります。去る二月二十五日、天皇陛下には、皇大神宮（内宮）遷御を十月二日午後八時、豊受大神宮（外宮）遷御を十月五日午後八時と御治定遊ばされたとの説明が神宮当局によりなされました。今後、遷御の諸祭が恙なく斎行されますことを祈念いたしますとともに、神宮大麻の頒布及び奉賛、参宮団活動を進めてまいりますので、氏子崇敬者の皆様方には今まで同様の赤誠を賜りたくお願い申し上げます。また、当社と御祭神を同じくする出雲大社では、来る五月十日午後七時より、本殿遷座祭が斎行されます。六十年に一度の遷宮で、更なる御神威の発揚をお祈り申し上げる次第であります。

昨年より実施された「神社検定」は六月二日に第二回が行われます。新しい受検者必読本が二月中旬に発売されました。当社関係者でも早速購入し、学んでおられる方がおられます。「神社、神道はどう展開していったのか。歴史を知れば神社はもっと楽しくなる。」とテキストに書かれています。歴史を知れば神社はもっと楽しくなる。知識を深め、個々の信仰心の熟成や美しい日本の国柄を理解する一助になれば幸いです、多くの参加者がいることを期待しております。

大震災より二年が経ち、復興が遅々として進んでいない現状があります。引き続き、様々な支援活動を展開しなければなりません。一方、静岡県では「内陸フロンティア構想」が総合特区に指定され、今後五年間で新東名高速道路を活用し、防災対策の強化や地域の活性化などに取り組む計画が進んでおります。この度の構想が、森町パーキングエリア周辺から、明神通りの振興に繋がっていくことを願っております。

昭和五十七年に「遠江森町の舞楽」が国指定となつて三十周年をむかえます。本年例祭の舞楽は四月二十日、二十一日に奉奏されますので、是非皆様方のご参拝をお待ちいたしております。

年末年始のご報告



平成25年正月の拝殿前（1月5日）



平成25年「巳」（製作 鈴木格子氏）



門前の大絵馬（1月3日）



正月恒例の「どんど焼」（1月20日）



八王子社例祭の奉射神事（1月17日）



初甲子祭の御本殿特別参拝（2月27日）



御弓始神事の大的式（1月17日）

### 節分祭の斎行

二月三日（日）午後二時より節分祭を斎行し、年男役・年女役の九十五名の方々が色とりどりの大紋を身にまといご奉仕いただきました。さらに、特別奉仕者として元横綱・朝青龍明徳さんと日本オリンピック委員会副会長・小國神社奉賛会顧問の福田富昭氏をお招きいたしました。拜殿への入場では奉仕者より盛大な拍手にてお迎えされ、厄を祓う追儺神事や福笑い神事なども楽しくご奉仕をされました。

また、豆撒きでは、浜松市出身の寛利夫さん直筆サイン入りの「奉納俵」が撒かれ参拝者に好評でした。当日は日曜日と言うこともあり、朝青龍さん



節分祭特別奉仕者 JOC福田富昭副会長(右)・元横綱朝青龍氏(左)



俳優 寛利夫氏奉納のサイン入り俵

を一目見ようと約一、〇〇〇名の参拝者にて賑わい、朝青龍さんは「俺がご奉仕したので今年は皆、御利益がある」と申され、子供を抱き上げるなどして親しくお話しをされておりました。

### 師走の大祓式斎行

十二月三十一日大晦日の午後三時より師走の大祓式が斎行されました。

大祓式は年二回行われ、知らず知らずのうちに心や体についた罪やけがれを、身代わりとなる人形に託し、川に流して祓い清める日本古来の伝統神事です。当日は氏子内外より多くの方が参列され、神職とともにお祓いを受け、清く正しい身に立ち返り、良い新年を迎えられるようお願い申し上げます。

また、来る六月三十日には境内に設けられました「茅輪」をくぐる、夏越の大祓式が斎行されます。当日ご参列いただければ、お祓いをご一緒にお受けいただけますので、是非ともご参列いただきますようご案内申し上げます。



師走の大祓式（平成24年12月31日）

### 田遊び祭・田遊び神事

正月三日午後一時より田遊び祭が拜殿にて斎行されました。祭典に引き続き、舞殿にて「田遊び神事」が十六名の旧社家の皆様方により奉仕・奉納されました。

毎年正月の恒例神事の「田遊び」の起源は鎌倉中期頃とされ、古式そのままに伝えられています。本年の豊作を祈願し、田作りから刈り入れまでの稲作過程を一番「素鋤」から十二番「歌おろし」までの演目により模擬的に演じます。「田遊び」は全国各地で行われ、特に静岡県は広く知られておりますが、当社の「田遊び」は派手な飾り気もなく、田に見立てた太鼓を中心に田唄に合せて所作を行う素朴な神事です。神事後、神札の授与・投げ餅が行われました。



田遊び神事「歌おろし」（1月3日）

### 遠州とこわか塾開催のご報告

第三期遠州とこわか塾の第二回・第三回が開催されましたのでご報告いたします。

**第二回** 平成二十四年十二月九日(日) 午後三時 小國神社研修室

演題 「北朝鮮の強制収容所と独裁体制」

講師 北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会

副会長 三浦 小太郎 先生  
会 員 三浦 朝子 先生

**第三回** 平成二十五年二月二十四日(日) 午後三時 小國神社研修室

演題 「西遷宮の年に新たな国作りを考える」

講師 國學院大學教授・日本の建国を祝う会会長

大原 康男 先生

各回を通じ、現在日本を取り巻く東アジア諸国間の緊張を踏まえると、日本国として対応すべきは自国の体制を正しく整え、自国の正義を強く主張することが必要であることをご教授いただきました。  
タイトルにもある通り、神宮と出雲大社の遷宮が斎行される慶賀の年に日本国自体が甦ることに期待いたします。



評論家・三浦小太郎氏(平成24年12月9日)



國學院大學・大原康男教授(平成25年2月24日)

### 紀元祭の斎行

二月十一日に我が国の建国を祝う紀元祭が斎行されました。この日は初代神武天皇が即位なされた日であり、「建国記念の日」の祝日として日本各地で催しが行われます。当社でも恒例の奉祝パレードを実施いたしました。氏子内各地区を出発し、子ども会を中心とした多くのパレード参加者が国旗や手旗を振り、元気よく神社へと行進しました。

また、紀元祭終了後には奉祝式典を実施し、国歌、紀元節の歌を全員にて斉唱し、祭典からご参列いただきました森町長村松藤雄様を始め、来賓の皆様よりご祝辞を賜りました。

一方、境内では甘酒の授与や氏子青年会による餅つきやビンゴゲームが催され、建国の日をお祝いいたしました。



建国奉祝パレードの参加子供達 (2月11日)

### 祈年祭の斎行

二月十八日(月)の午前十時から祈年祭を斎行いたしました。本年は、生憎の天候ではありましたが、森町議会議長鈴木晃様を始め八十五名のご参列を賜りました。

祈年祭は、「としごいのまつり」とも云われています。「年」は古語で穀物の稔りを意味します。その年の稲の豊穰と国家の安泰をご祈願申し上げる祭典であり、一年の収穫を感謝申し上げます。十一月の新嘗祭と対した祭典です。



祈年祭の参進 (2月18日)

### 初甲子祭の齋行

二月二十七日（水）寒明けの最初の甲子の日に初甲子祭が齋行されました。甲子の日は、当社のご祭神であります大國主命が国土経営を始めた日と云われ、六十日に一度巡るその日はご縁日とされております。

その中でも初甲子祭は、特にご靈驗あらたかな日とされ「願い事のままに叶う」と古来より伝えられております。さらに、この日に限っては本殿の廻りを歩いてお参りすることができ、講社の講員を始め敬神婦人会の会員など多くの皆様が、普段入る事の出来ない大神様のすぐ間近にて家内安全・商売繁盛・無病息災などをご祈願いたしました。



初甲子祭・御本殿階下にてお参り（2月27日）

### 「遠州みもろ焼・田米陶房」の開設

森町森山には、明治の開窯より受け継がれてきた焼き物「森山焼」があります。現在、四つの窯元がそれぞれの特徴を活かして窯業しています。そのうちの一つ、「田米陶房」（田米和好氏）が境内に新しく陶房を構えることになりました。

田米陶房は、自然から採れる原料の持ち味を損なうことなく作陶しており、近年は神社の神杉の落ち葉を利用した作品も手掛けています。五月上旬のオープンを予定しており、ギャラリーではその作品をご覧いただけます。

「みもろ」とは、「神聖な場所」を意味します。今後は開設する陶房の窯を充実させ、境内の土なども利用して作陶する予定です。



開設直近の「遠州みもろ焼・田米陶房」（3月5日）

### 平成二十五年例祭のご案内

来る四月十八日は、当社のご祭神「大己貴命」が本宮山に祀られ、十二段舞楽が奉奏された最も由緒のある日にあたり、例祭が齋行されます。

今年の日程は、十七日（水）に献詠祭・前日祭、十八日（木）に例祭、二十日（土）に氏子入り奉告祭、二十一日（日）に神幸祭が齋行されます。

神幸祭の日には国指定重要無形民俗文化財の十二段舞楽が奉奏され、終了後には餅まきが行われます。また境内では新茶の手揉みの実演や茶娘による無料接待、弓道愛好会による大弓会（競射の会）が催され、甘酒の無料授与が実施されます。

是非とも当社のご縁日にご参拝いただきまして、大神様の一層のご神徳を賜りますようお願い申し上げます。



例祭 舞楽の奉納（本年は4月20日・21日の奉奏）

### 勸学祭・氏子入り奉告祭のご案内

勸学祭は四月六日（土）の十一時から齋行いたします。

氏子地域の小学校また中学校にご入学されますお子様にご参列いただき、ご神前にて学業成就・身体健全・交通安全をご祈願申し上げます、お祝いたします。

氏子入り奉告祭は、四月二十日（土）午後二時から齋行いたします。平成二十四年四月一日から平成二十五年三月三十一日までにお生まれになられたお子様と嫁入り・婿入り・転入居住された方々にご参列いただき、当社の氏子に加わったことをご神前にて奉告申し上げます、家内安全、無病息災をご祈願いたします。

お申し込みは各地区の総代を通してご連絡いたします。名簿に明記の上、当日ご家族の皆様と一緒に参列下さいますようご案内申し上げます。



門前の染井吉野（平成24年4月5日）

# まつり歳時記

三月〜六月

## 三月

### 弥生

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十七日 真田城趾慰霊祭 (午前十時半)
- 十七日 鉾執社例祭 (午後一時半)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 二十日 春季皇霊祭遙拝式 (午前九時)

## 四月

### 卯月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 三日 神武天皇祭遙拝式 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 六日 勸学祭 (午前十一時)
- 七日 一宮さくら祭 (午前十時)
- 八日 杉祭 (午前九時)
- 八日 全国一宮等合殿社例祭 (午前九時半)
- 十六日 垢籬祭 (午前十一時)
- 十七日 献詠祭 (午前九時)
- 十七日 前日祭 (午前十時)
- 十八日 例祭 (午前十時)
- 十八日 舞揃 (午後二時)
- 二十日 氏子入り奉告祭 (午後二時)
- 二十日 十二段舞楽奉奏 (午後二時)
- 二十一日 十二段舞楽奉奏 (午前十一時)
- 二十一日 神幸祭 (午後二時)
- 二十一日 献茶祭手揉み保存会 (午後四時)
- 二十八日 甲子祭 (午前九時)
- 二十九日 昭和祭 (午前九時)

## 五月

### 皐月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 五日 こども祭 (午前十時)
- 六日 本宮山青葉祭 (午前十一時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)

## 六月

### 水無月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 一日 花菖蒲園開園奉告祭 (午前九時)
- 二日 花しょうぶまつり (午前十時半)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 二十一日 御田植祭 (午前九時)
- 二十七日 甲子祭 (午前九時)
- 三十日 夏越の大祓式 (午後三時)



水無月の花菖蒲 (平成24年6月11日)

## 第十一回「写真コンテスト」のご案内



今回の写真コンテストより写真部門ごとに作品を募集いたします。

部門二(境内に咲く草花・樹木などの自然)・部門二(祭事・催物)・部門三(野鳥)の三部門となります。部門二は従来通りですが、新たに部門三「野鳥」を新しいテーマといたしました。「野鳥の宝庫」といわれる当社の境内には、サンコウチョウ・カワセミ・オオルリなど多くの野鳥が生息しています。写真を通して種類でも多くの鳥を紹介いたしますので、ご応募をお待ちしております。撮影期間は平成二十四年十一月より平成二十五年六月下旬となり、締め切りは同月末日となります。なお、応募チラシは神社及び写真材料商組合中遠支部加盟店にて配布中です。ご不明点などは写真コンテスト係までお問い合わせください。



花菖蒲まつり (春日秀夫氏撮影)

## 古代の森シリーズ 37

### 宮川

宮川は、本宮山の山麓からの水系により、清らかな流れを保っています。境内では社殿東側を二キロメートルほど流れ、水中には多くの生物が見られます。特に御神域を流れているので自然が保たれ、水生昆虫をはじめ、ハヤ・サワガニ・手長エビ・カジカガエルなどが生息しており、ウナギやモクズガニが見られることもあります。水深が浅く木陰が多く、盛夏には幼児の川遊びの場所としても親しまれています。また、川沿いは自然豊かで、四季折々により森林浴・紅葉狩り・バードウォッチングなどが楽しめます。



晩秋の宮川 (山下憲造氏撮影)

### 一宮さくら祭の開催

四月七日(日) 一宮さくら祭を開催します。さくら祭のメイン会場となる「ことまち横丁」前の駐車場にステージカーを設置し、午前十時より午後四時まで各種団体による演目が披露されます。ジャンルは幅広くバンド演奏・ダンス・三味線など和洋折衷にて構成されています。終了後には、投げ餅を行うなど終日多くの人で賑わいます。

また、舞殿では琴・尺八が奏でられ、社務所前では茶席や甘酒の接待もあります。境内各所で陽春のひとつときをお楽しみいただけますので、皆様お誘い合わせのうえお越しくださいませようご案内いたします。



一宮さくら祭 (平成24年4月1日)

### 本宮山青葉祭のご案内

五月六日(月) 本宮山山頂にて青葉祭が斎行されます。本宮山は、当社の御祭神であります大己貴命が最初に出現された場所であり、山頂には奥磐戸神社が鎮斎され、御祭神の荒霊をお祀りしております。

午前十一時、祭典が始まり宮司の祝詞奏上後、ご参列いただきました皆様には玉串を奉り拝礼していただきます。祭典後には、遠州灘を遥かに望みながら直会が行われ、古式神酒(下ブロク)や初鰯、ご神前にお供えされました八十八夜のお茶等をふるまいます。

この祭典には、どなたでも参列出来ますので、ご希望の方は当社までお問い合わせ下さい。



本宮山庁屋前の石鳥居 (平成24年5月6日)

## 命名

平成二十四年十二月一日  
平成二十五年二月二十八日

- |           |            |            |            |
|-----------|------------|------------|------------|
| 高柳 凜乃 袋井市 | 大場 千華 森田町  | 遠藤 愛理 袋井市  | 鈴木 相翔 菊川市  |
| 志賀 郁証 袋井市 | 江塚 誠 磐田町   | 松本 陽名 森田町  | 森口 藍 浜松市   |
| 小淵 葉生 袋井市 | 栗田 湖陽 掛川市  | 松本 幸輔 掛川市  | 村瀬 正成 浜松市  |
| 相澤 志織 森田町 | 飛鳥 瑛香 森田町  | 亀村 琳太 掛川市  | 進士 晏奈 焼津市  |
| 戸山 俊希 袋井市 | 鈴木 瑛翔 袋井市  | 小澤 里穂 森田町  | 小粥 遥華 浜松市  |
| 永田 依子 浜松市 | 土屋 瑛真 袋井市  | 岡村 悠樹 御前崎市 | 坂田 幸大 浜松市  |
| 杉山 詩織 掛川市 | 大石 諒真 袋井市  | 鈴木 泉璃 掛川市  | 鈴木 琳太郎 掛川市 |
| 高林 楓加 浜松市 | 佐藤 麗伊亜 袋井市 | 渡辺 真尋 掛川市  | 高塚 泰知 掛川市  |
- 当社では、お子様の命を  
申し受けております。

### 稚児行列奉仕者の募集

四月二十一日(日)午後二時より神幸祭(おわたり)を斎行し、稚児行列を執り行います。つきましては、本年も行列に参加される稚児を募集しておりますので、ご希望の方は当社までご連絡ください。

電話 〇五三八一八九一七三〇二  
振興会 稚児行列係

- 募集要項
- 一、対象者 小学校三年生位までの男女
  - 一、参加費 五〇〇〇円
  - 一、募集人員 若干名(先着順)
  - 一、申込締切 三月三十日(土)



例祭の稚児奉仕 (本年は4月21日)

### 献詠祭の和歌募集

当社では、献詠祭で神前に奉納する和歌を募集しています。左記の要項にて多数ご応募くださいますようお願い申し上げます。

- ◇兼題 「遷宮」「橋」
- ◇用紙 短冊
- ◇(歌は楷書にてお書き下さい。裏面に住所・氏名を明記下さい。)
- ◇献詠費 無料
- ◇締切 四月十五日(月)
- ◇宛 先 〒四三七一〇二二六 静岡県周智郡森町一宮三九五六一 小國神社社務所 祭儀課献詠係



遷宮を控える出雲大社 (平成24年11月7日)



春の門前風景(平成24年4月12日)(川田廣行氏撮影)



沖縄県・波上宮 末安大孝名誉宮司ご夫妻ご参拝  
(平成24年9月28日)

「小國の杜・点描」



宮代地区・幟奉納につき正式参拝(平成25年12月23日)



敬神婦人会の活動「節豆の袋入れ奉仕」(1月24日)



氏子青年会の活動「正月・開運だるまの授与」(1月5日)

平成二十五年三月十五日  
 「玉垂」(たまだれ)第三十七号  
 題字揮毫 神社本廳元総長 工藤 伊豆  
 発行 小國神社社務所  
 郵便番号 四三七〇二二六  
 住所 静岡県周智郡森町一宮三五五六一  
 電話番号 〇五三八(八九)七三〇二  
 FAX 〇五三八(八九)七三六七  
 印刷 (有)デザインオフィス エム・エス・シー

平成二十四年四月九日(月)午後四時、齋館前の紅枝垂れ桜を撮影いたしました。この桜の横には、もう一本枝垂れ桜があり、参拝者には絶好の撮影スポットとなっています。

表紙写真について

○「玉垂」三十七号をお届けいたします。年々開始の祭事・行事をご報告させていただきました。お正月は好天が続き、一月中では二日しか降雨がありませんでしたので、順調にご参拝の方々をお迎えいたしました。○三月にも入りますと紅葉の枝先が少し赤くなり、若葉への準備を始めます。もうすぐ例祭が斎行される四月となります。関係各位のご協力をお願いいたします。

編集後記



駅伝森町チーム  
必勝祈願(平成24年11月18日)



新職員紹介

権祿宜  
 打田 雅臣  
 ご指導・ご鞭撻の程  
 宜しく申し上げます。